

こめむすび会現地研修会を開催しました。

6/17(水)に(有)アグリ山崎の作業場及び圃場にて、水稻中期管理の講習会および有機栽培米の現地研修会を実施し、こめむすび会の会員 10 名が参加しました。こめむすび会は、R6 年度に設立された新しい組織で、地域の生産者が交流を深め、協力して未来の地域農業の維持・発展を目指して活動しています。

まず初めに、講習会では、中干しのポイントや終了のタイミング、中干し後の間断かん水の管理方法について説明しました。次に、特に近年問題となっている病虫害や高温への対策として、イネカメムシの適期防除や暑さに負けない米づくりに向けた追肥や深耕について説明を行いました。

続いて、有機栽培圃場に移動し、アイガモロボ2を活用した抑草対策について、昨年度までの実証結果と今年度の取り組み内容について紹介しました。併せて、(有)アグリ山崎の山崎美穂農業経営士から圃場の有機管理についてお話をいただきました。

最後に参加者からの質疑では、「高温障害対策に一番必要なものは何か」、「除草剤を使っていないのになぜ雑草が少ないのか」といった質問が挙がり、高温対策や有機栽培米について関心が高い様子が伺えました。

普及センターでは、高温対策に向けた重点指導と環境に配慮した米づくりの推進に向けて支援していきます。



6/17(水) 坂東地域農業改良普及センター 稲毛田 優(成長産業)